

肌が敏感な人は、化粧品や金属製のアクセサリ・ゴム手袋など、身の回りにある物が肌に触ることで、かゆみや発疹を引き起こすことがあります。同じように、まつげエクステの施術用品が肌に触れることで、かゆみや発疹を引き起こす方が稀におられます。このような何らかの物質が肌に接触することで引き起こされる皮膚の炎症は、医学的に接触性皮膚炎（かぶれ）と呼ばれ、アレルギー性と刺激性に大別されます。同様に接触によりおこる皮膚の反応がじんましんの場合は（ 1 ）と呼ばれ、広義の接触性皮膚炎として扱われることもあります。

●接触性皮膚炎について ここからは皮膚科専門医の先生に一般的な接触皮膚炎の話を伺います。

接触性皮膚炎とは、特定の物質が皮膚に接触することによって起こる炎症のことです。物質による皮膚への刺激が原因の「（ 2 ）皮膚炎」とアレルギー反応で起こる「（ 3 ）皮膚炎」に大別されます。

## ●症状

（ 2 ）皮膚炎では接触した部位に一致して症状が出ますが、アレルギー性では接触した範囲外にも症状が出るのが特徴です。赤み（紅斑）と腫れ（膨脹）、みずぶくれ（アレルギー性では（ 4 ）、刺激性では（ 5 ））を特徴とし、かゆみ、ほてり、時に痛みなどを伴います。原因物質を避けられずかゆみにより掻き続けると、慢性化して皮膚が厚く硬くなりきめが粗くなります（（ 6 ）化）。（ 1 ）は蚊に咬まれた時のような皮膚の一過性限局性のむくみ（（ 7 ））で通常数時間で消腿します。

## ●刺激と接触することが原因の「（ 2 ）皮膚炎」

刺激性のある物質が皮膚に直接接触することによって起こります。刺激性が（ 8 ）でも皮膚の方の調子がおもわしくないと発症することもあります。代表的な原因には、アルカリ・（ 9 ）などの化学物質、毒性を持った動植物、石鹼や洗剤、化粧品などがあります。症状の度合いは、皮膚が受ける刺激・毒性の強さ、量や濃度、接触時間などによって程度が決まります。例えば、毒性が強い場合は、その分症状も強くなります。また、普段なら症状の出ない弱い刺激でも、長時間接触していたり頻回に接すると、（ 10 ）されて症状が出たりすることがあります。

## ●（ 11 ）が接触することが原因の「（ 3 ）皮膚炎」

（ 11 ）（アレルギーの原因物質）が接触することで、アレルギー反応を介して、皮膚炎が起こります。過去に（ 11 ）に反応する免疫システムを獲得した（（ 12 ））といいますが、特定の人にだけ発症します。（ 12 ）には約一週間以上を要しますので生まれて初めて（ 13 ）した物質には、反応しません。（ 11 ）に接触した場合、症状がでる時間は数時間から1日、長いときには2、3日後と遅れて発症し、人によって発症時間は異なります。

（ 11 ）としてよく知られているものに、うるし、さくらそうなどの植物や金属などがあります。診断のためには詳細な問診（何に接触したか）と（ 14 ）が必要です。

## ●（ 15 ）皮膚炎

接触性皮膚炎の中には、接触だけでは発症せず、接触した上に紫外線が当たって初めて発症するというめずらしいものもあります。

これを「光（ 15 ）皮膚炎」と呼び、やはり「（ 16 ）皮膚炎」と「（ 17 ）皮膚炎」の2種類にわかれます。日光裸露部に出現するのが特徴で診断のためには光（ 18 ）が必要になります。

## ●接触性皮膚炎の原因とされる物質（接触じんましんの原因も含む）

### 果物

マンゴー、メロン、キウイ、いちじくなど

### 植物

うるし、銀杏、サクラソウ、スギなどの（ 19 ）、ブタク

### 金属

時計のバンド、コイン、ネックレス、指輪、ピアス、Gパンのボタン、（ 20 ）に使う金属の詰物など。材質は、ニッケル、クロム、コバルトなど。

※（ 21 ）が一番発症しにくい金属といわれています。

### 化粧品

マニキュア、除光液、保湿剤、毛染め、パーマ液、制汗剤、香水、日焼け止めなど

### 微生物

細菌、カビ、ハウスダストなど

### その他

ゴム製品、衣類、灯油、塗り薬、絆創膏、湿布、テーピングなど

## ●診断

皮膚科専門医であれば、症状により接触性皮膚炎であることはある程度診断がつきますが、確定のため、今後の再発防止のために、詳細な問診で可能性のある（ 22 ）を絞り込み（ 23 ）を施行します。（ 23 ）は（ 22 ）によっては既に調整されて販売されているものを貼付する場合がありますが、現物をそのまま貼付したり（ 24 ）調整をして貼付したりなどさまざまです。原則（ 25 ）時間に判定しますが（ 23 ）に精通した医師の判定が必要になります。接触じんましんの場合も（ 23 ）、プリックテストなどを行います。15分から（ 26 ）分で判定します。

## ●治療・予防

（ 23 ）に先立って治療を行います。問診で原因物質と疑われる物質に触れないことと（ 27 ）の塗り薬で治療開始しますが症状がひどい時は（ 27 ）剤の内服が必要になることもあります。原因が除かれている場合は約（ 28 ）週間で症状は改善しますが十分に良くなってから薬を中止します。

（ 29 ）皮膚炎の予防は（ 22 ）との接触を完全に回避することです。その意味でも（ 23 ）で（ 22 ）を特定しておくことはとても重要です。（ 30 ）皮膚炎の場合も原因物質との接触の（ 31 ）が重要ですが、職業性のようなケースでは完全（ 31 ）は困難なことも多く（ 32 ）などを使い慎重に触らないといけないうケースもあると予測されます。

以上皮膚科専門医のお話を聞きましたが、まつげエクステの施術に際しどんなトラブルが起こりうるかをあらかじめ知識として知っていることが重要と考えます。

## ●まつげエクステのトラブルとしての接触性皮膚炎

以下の基礎知識を知って施術に臨む必要があります。

- ・（ 33 ）の施術でも発症する場合や、施術を重ねてゆくうちに発症する場合もある。
- ・過去に問題のなかった物質でもかぶれることがある。
- ・アレルギー性の原因物質は接触すると必ず症状再現する。
- ・アレルギー性の場合には接触した範囲外にも症状発現する。
- ・アレルギー性の場合には（ 34 ）側のまぶたに症状出現する。
- ・刺激性の場合には（ 35 ）側のみ発症することもある。

まつげエクステに関する接触皮膚炎で考えられる原因物質

- ・化粧水、クレンジング、マスカラなどの化粧品の（ 36 ）または（ 37 ）物質。
- ・グルー「まつげエクステ用接着剤」（低刺激のグルーでも発症することがある）
- ・（ 38 ）金属アレルギーの人
- ・（ 39 ）敏感肌用でも発症することがある
- ・（ 40 ）タイプの人工毛に付着しているわずかな粘着剤
- ・不衛生な状態の人工毛やツイザーに繁殖している（ 41 ）
- ・ツイザーや人工毛の（ 42 ）

この他にも可能性は多数ありますが、まつげエクステによって起こりうる接触性皮膚炎は、施術技術に大きく影響されるものではなく、主に人の体質や使用状況に関わってくるものです。トラブルを未然に防ぐための個別の（ 43 ）、サロンでの（ 44 ）が非常に重要となります。

## ●終わりに

接触性皮膚炎は、原因物質を特定し早期に治療すれば比較的すぐに治るといわれています。しかし、原因である物質は数多く存在し、正確に特定するためには専門の医師の診断が必要です。また、皮膚炎が悪化することで肌の（ 45 ）機能が低下し、細菌による感染症を併発することが稀にあります。不衛生な環境は様々な病態の温床となりますので、衛生管理には細心の注意を払うことが大切です。

万一のトラブルの際は（顧客から肌の異常を電話などで伝えられた場合）その症状が軽症でも独自で判断はせず、まずは病院で受診するようお願いしましょう。



問. 空欄に入る正しい言葉を次の一覧から選んで、記号で答えなさい。 ※同じ言葉を何回使ってもかまいません。

記号		記号		記号		記号	
イ	花粉	ロ	膨疹	ハ	光アレルギー性接触	ニ	光接触性
ホ	24	ヘ	接触性じんましん	ト	海癬	チ	刺激性接触
リ	ステロイド	ヌ	手袋	ル	小水疱	ヲ	チタン
ワ	片	カ	固定テープ	ヨ	大水疱	タ	バリア
レ	初回	ソ	弱く	ツ	カウンセリング	ネ	48
ナ	20	ラ	アレルギー性接触	ム	40	ウ	両
ノ	アレルゲン	オ	衛生管理	ク	光刺激性接触	ヤ	1
マ	蓄積	ケ	濃度	フ	苔癬	コ	歯科治療
エ	成分	テ	トレー	ア	ツィーザー	サ	回避
キ	感作	ユ	接触	メ	静電気	ミ	ステンレス
シ	雑菌	ヒ	揮発	モ	パッチテスト	セ	酸

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40

41	42	43	44	45

----- 解答 -----

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
ヘ	チ	ラ	ル	ヨ	フ	ロ	ソ	セ	マ	ノ	キ	ユ	モ	ニ	ク	ハ	モ	イ	コ

21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
ヲ	ノ	モ	ケ	ネ	ナ	リ	ヤ	ラ	チ	サ	ヌ	レ	ウ	ワ	エ	ヒ	ア	カ	テ

41	42	43	44	45
シ	メ	ツ	オ	タ

(15、16 順不同)